

党務と公務 両立に意欲



近畿
谷氏
比例
自民

「今まで以上に党務も相当やらなければ」。そう話すのは、9月に自民党副幹事長となったた谷公一衆議院議員(58)＝比例近畿。選挙も含め、党運営全般にかかわる役職で、10月半ばには早速、北海道5区補欠選挙の応援のため3日連続で現地入りした。

い。影の内閣(シヤド・キャビネット)の農林水産副大臣となり、農業分野の部会、調査会の役職も複数担う。国会でも、これまで所属していた総務、災害対策の各委員会に加え、新たに農林水産委員会の理事となった。政権交代前に比べ、国会議員が激減した自民党。当選3回の谷氏ら中堅議員の役割は重たい。国会で質問に立つ場面も多く、「回数もさることながら、鋭い質問で民主党政権を追いつめたい」と話す。

政策立案にも忙し

(山崎史記子)

永田町から